

令和4年度第2回 静岡市犯罪等に強いまちづくり推進審議会 会議録

- 1 日 時 令和5年1月25日(水) 午前10時00分から午前11時05分まで
- 2 場 所 静岡庁舎本館3階 議会特別会議室
- 3 出席者 (委員) 金子泰之委員(会長)、木村精治委員、萩原浩委員、串原典委員、
勝山達巳委員
(事務局) 原田生活安心安全課長、
仲澤防犯・交通安全係長、海老副主幹、鈴木主任主事
- 4 傍聴者 なし
- 5 議 題
第3次静岡市犯罪等に強いまちづくり基本計画について

6 会議内容

(1) 開会

(2) 議事

金子会長 では議事の開催に先立ちまして、審議会規則の第2条第3項の規定にある代理人を指名したいと思っております。代理人は木村委員にお願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

では早速議事に入りたいと思っておりますが、次第の2、議事「第3次静岡市犯罪等に強いまちづくり基本計画について」、事務局より説明をお願いいたします。

事務局 【資料1～4-3】「第3次静岡市犯罪等に強いまちづくり基本計画について」
説明

金子会長 委員の皆さんからご質問やご意見はありますか。

木村委員 ひとつ確認になるのですが、資料2というのは基本計画の報告書の中に入るものですか？概要のように計画書の頭に付くものなのかというところの確認なのですが、別物ならいいのですが、もし一体として入れるものであれば、資料2の下側の推進体制の右側の矢印の真ん中に「連携と協働」というように書いてあるのですが、本編の方の32ページの役割について、「協働」そのものになっているのでそこを「連携」という言葉と合わせるかどうかというところで。別物であればいいのですが、もし一緒に入ってくるものであれば整合性を図った方がいいのかなというように思います。

あと資料1の対応については丁寧に修正等を加えていただきまして非常に分かりやすくなったのかなと思っております。その中で、個人的な感覚の問題で恐縮

なのですが、18ページのグラフの、実際の割合というのは小数点第一位でいいと思うのですが、その上の軸の50%まで書いてあるところには小数点第一位まで必要なかどうかというのは、見やすさからすると無くてもいいのではないかと。個人的な感覚のものなので、数学的にいえば小数点第一位はそれなりに意味があるもので必要かと思うのですが、グラフでぱっと見のところは小数点第一位がなくても実際のところが46.2と書いてあるのでどうかと思いました。

あと、パブリックコメントのところの意見提出が24人ということで、他部局でもパブリックコメントで意見を受けていると思うのですが、24人というのは人数が多い方なのか少ない方なのか、その辺もお聞かせ願いたいです。結構回答されているのが年齢の高い層が多いというところで、この高い層の人たちが回答した方法が電子的な、ネットで返してきたのか、FAXや電話とかで返してきたのかというところをお聞きしたいなと思いました。というのは、若い人の層を取り込むことと、これから電子媒体が多くなってくるので、そういうところをうまく活用していくことも必要なのかな、というところがありましたので質問させていただきました。

事務局 セットで報告するというよりも、計画をより簡単に見てもらいたいなという、こういうものを作っているよとする役割をしているものですから、先ほどの32ページの「連携・協働」の「協働」の部分については検討させていただきます。

事務局 なのでホームページでは表示的に概要版と本編という感じで見せたいと思います。

事務局 先ほど言われた、表の小数点以下のところについては、それ以降のスペースのところもなっているものですから、また内部で確認させていただきます。

木村委員 これは個人的な感覚で見た感じが、表として小数点がちょっと見づらいかなど思ったので。

事務局 また少し確認させていただきます。

事務局 パブリックコメントの件数が市の中でどうかという件についてはまちまちな状況でして、例えば市の第4次静岡市総合計画のパブコメだと何百人、何百件というような意見を頂いているものもあります。今回の犯罪等に強いまちづくり基本計画については、前は、4件、5件くらいの件数だったのですが、今回広く意見を募集したいところで報道資料であったりホームページであったり、60代以上の方が多い要因の一つとして市内の地域防犯団体の地区安全会議47団体の会長宛てにこちらから個別に意見応募用紙を送らせていただいたところもあるものから。先ほどご質問でもあったのですけれども、割と60代以上の方が多くというのは、そういった方からかなり多くご意見をいただいているところもあるという状況でございます。ご意見をいただいた手法になるのですが、地域の防犯団体の皆様には基本的に紙でお送りしているものからFAXや郵送でいただく、または窓口にお越しいただくということが多く、やはり電子で申請されるという方はな

かったかなと思います。常葉大学の大学生などにもご案内させていただいたのですけれども、メールでご案内しているものですから、電子申請で申請いただくところが多かった状況になります。24人67件という数字についてはとても多いというものではないかと思うのですけれども、比較的広くご意見をいただけたかなというように担当では感じております。

事務局 内容によってすごく興味を持っていることは意見しやすいところはあるものですから。お恥ずかしい話、去年交通の関係もやったのですがそっちは意見が3件と少ないこともあるので、人数ばかりではなくて件数もしっかり書いてもらうという部分では、まあまあご意見をいただけたかなと感じております。

事務局 またうちの課でちょうどほぼ同じタイミングで消費生活の基本計画もパブリックコメントを出してまして、そちらも人数的には意見をいただいた方は二十何人という形になります。また当課が少し関わったもので、ごみ屋敷の条例についても8月から9月にかけてパブコメをやったのですけれども、そちらは少し多くて四十何人かのご意見をいただいたという形になります。少なくともないけれど多くもない、という感じの人数なのかなとは思っています。そうですね、ごみ屋敷のものは42人にいただいています。

金子会長 ほかに何かありますか。

勝山委員 38ページの地域の防犯活動事業の助成とか保護司とか書いてあるのですが、何歳から何歳がその活動が出来るのかというのが全然わからなくて。退職して保護司に推薦されたから行こうと思っても、70になったら駄目とか65になったら駄目とか、なかなかわからない部分があるものですから。こういうものに対して防犯活動でもなんでもそうなのですが、年齢が高い人たちが一生懸命やってくれているので、どこまでがやって良いのかというのがわからないので、どこかに付属的に資料でつけていただければ「じゃあ参加してみよう」と簡単にいくのではないかなと。活字ばかり多いので少しは絵を入れて、どこを読んでも活字ばかりなのでぱっとすぐわかるような。すごく細かく書いてくれてありがたいのだけれども、そういう方向も一つはお願いできたらありがたいかなと。わかる人は良いのですけど。

事務局 どうしても計画に関連する掲載資料という形で各課の事業を寄せ集めたような形で考えているところがあるものですから、今勝山委員がおっしゃったように、この計画をいろんな方の目に触れていただく中でいかに個別の事業に興味をもっていただくか、ということも非常に重要な視点かと思えます。なかなか年齢の部分などは難しいのですけれども、それぞれ個別の事業に、当課でいうと防犯パトロールなどは18歳以上の市民の方をお願いしています。というアナウンスをしながらやっているものですから、そうしたところで事業に皆さんに関わっていただけるように広報等考えていきたいとは思っております。

金子会長 例えば条件などが一覧表でまとまったりしたものが別にあるとわかりやすいの

ではないかと思うので、また今後出来る範囲内で考えていただければ。

ほかにはいかがでしょうか。

木村委員 先ほど資料2の指標のところを説明いただいて、「3 犯罪の起きにくい環境（ハード）づくり」の横の成果指標の欄に防犯パトロールの腕章の画像と活動と書いてあるのですけれども、これは指標に関わることなのでしょうか。その辺がよく理解できなかったものですから。上2つはちゃんと数的に指標としてなっているのですが、3番のところは空間が空いてしまったのでこれを埋めたのか、というところですか。言葉と腕章の絵というのはあまり指標になっていないのではないかなど。そこがちょっと確認なのですから。

事務局 こちらは正直な所防犯カメラの指標がなくなったということがあるものですから、「地域防犯活動に参加している市民」に関連して、防犯の腕章を入れさせていたおいております。

木村委員 活動の件数とか登録した人数とかを書き入れるとか、またはパトロールの腕章をどれくらいつけているのかというのを示すのかな、というのをちょっと思ったのですけれども、今のところはそういうことではないのでしょうか。

事務局 そういうことではないですね。

金子会長 今のところに関係してなのですからけれども、先ほど指標で防犯カメラの指標を削除したということだったので、私が聞き漏らしたところがあるので、なぜそれを削除したのかというところをもう一回教えていただけますか。

事務局 元々この個別の基本方針ごとに設定したということで9月の審議会では示させていただいて、犯罪の起きにくい環境（ハード）づくりに防犯カメラの設置台数というのがこの方針の指標として結びついていたのですが、ハードづくりの中には「犯罪防止に配慮した公共施設の整備」と「市民が行う防犯設備の整備促進」という2つの施策がある中で、やはりカメラに特化してその指標とするのはどうなのか、というところの意見があったものですから。それを踏まえて削除をして、この防犯・犯罪被害者支援と広く分野を捉えたものを分けて、防犯分野でこの2つ、というような整理をさせていただいた状況ではあります。

金子会長 前回の第一回目の委員会の時に見せていただいた145名の方から回答があったアンケートの中に、22ページになるのですが、「防犯カメラの設置について」で「積極的に設置すべき」と回答したのが88.3%という数字があるので期待は高いと思うのですね。期待は高いのに、そこを出さなくしたというところが少しちぐはぐというか、市民の意見に対しての答えになってないのではないかと。8割の人は望んでいるわけなので、それに対する答えは必要なのではないかと思ったのですね。そういうところで消さない方がいいのではないかと思ったのですけれども。アンケートに回答してくれた人が88%「積極的に設置してほしい」というように回答しているということ、カメラを削った方がいいのではないかと、となったのはどういう風に捉えているのか気になる場所だったので。市民の声をもうちょっと考

えて、もう一度本当に削除でいいのかというところを検討したほうがいいのではないかなと思いました。

金子会長

私からも一つ意見がございまして、30ページのところに「防犯」ということについて具体的にかみ砕いて話を載せていただいているのですけれども。アンケートで、21ページのところに地域防犯活動の参加状況で参加していない理由は何ですかというところを見ていくと「時間がない」というのが一番上に上がっています。そこにも少し関係するのかなと思うのですけれども、「防犯」というのはここに書いていただいているように、地域の活動に参加することだけが防犯ではなくて、一人ひとりが生活の中で出来ることをやっていくことも広く防犯に入ると思うのですよね。というのが伝わっていけば、時間がなくて防犯の活動が出来ません、というのも減っていくのではないかなと思ったので。できれば地域の防犯活動に参加してもらいたいんだけど、時間がなくてできない場合は身近なところでこういうのをやってね、という具体的な項目をここに挙げていただけるとすごく良いなと思っていて。もうひとこえ具体的に書いていただきたいな、と思ったのです。例えば「地域を守る」というところで、日常生活の中で行う見守り活動と書いてあるのですけれども、その活動が具体的に何なのかというのをもう一步書いていただけるといいのかなと。具体的な行動例をもう少し加えてもらえると。例えば自宅とか地域の環境美化に努めるというのでも広く防犯につながっていくところになるし、この間強盗事件が起きていましたけれども、そういう情報を家族や同僚や友人に話をして共有するというのも、地域を守るということにつながっていくし、みたいな感じで。忙しい人でも出来る活動も少し加えて、こんなことやってね、8年後できるようになる市民が増えるといいよね、というメッセージを出してもらえるといいかなと。暗い夜は街灯が少ない所をなるべく歩かないとか、もうちょっと具体的に書いていただけるといいなという感じです。何か個人としてできる活動の具体例はありますか？

勝山委員

ゴミを拾うとか、空き家のガラスが割れているのを割れないようにするとかただそれだけでもすごく影響があるのですよね。目で訴える、五感で訴えるのが一番いいみたいです。そういう意識がないからここは入りやすい、と犯罪が多くなるみたいです。だからそういうことも小さなことからやった方がいいのかなと思います、会長が言うように。

金子会長

もう一個気になったのが、個人がすごく独立した感じでしか書かれていない感じがして、こういうのをやってくださいねっていう。そうではなくて一緒に誰かとやるとか誰かに伝えるみたいなのところを、連携とか協働というキーワードも出していただいているように。大学生からはパブリックコメントがあって、意識が高い人たちとかやってみたいという人たちがいて、そういう思いを広げていかないといけないのかなというところで。共有するとか伝えるとかというのも防犯活動につながるよ、というのを個人ではなくて、みんなで身近なところにつなげて

いってねというのがあると。それが8年後みんなできるといいよね、というところが書かれてあるとすごくいいなと思ったので。連携・協働というところもしっかり具体的な活動におとした形で言葉にさせていただけるといいかなと思いました。

木村委員

関連して、今後の課題じゃないですけども取り組んだらどうかと思ったところが、時系列で少し整理してみるというところで。平時の時は何をやるか、起こった時は何をやるか、起こった後は何をやるか、というところで。クロスのような形で、例えば左側に3つから4つの方針が書かれていて、上に時系列で平時の時は何をやるかと。方針に基づいて、例えば意識を高めるという場合には学校教育、地域で講習会をやるみたいな。細かく書いていけば、先ほど勝山委員が言われていたように地域で見守り、ゴミがないように、とか埋めていくとわかりやすくなるのかなと。犯罪が起こってしまった時には、地域の人が見た場合には通報するとか、それだったら自分もできるというところが出てくるので。具体的な事例が書かれると、今後そういうものやっっていくとより分かりやすくなるのではないかなと。大学生とか地域の人を含めてアイデアを出していただけると分かりやすくなっていくのではないかと感じます。

勝山委員

もうひとつ、要するに街中と山間地と意識が違うものですから、全部一緒というのは無理だと思うので、そういうところも少し汲み取ってもらってカラーを出してもらえればありがたいと思います。町の意識と田舎では範囲が広いのですよ。町では一点ぱっと見ればみなさんの目がある、けど田舎は一軒がすごく遠いじゃないですか。なので、そこのところも上手く摺り寄せしていただければと思います。

金子会長

今のところに関係してなのですが、時系列というところがすごく大事だなと思ったのは、パブリックコメントの4ページ目のところで、(4)安全な地域社会の実現に向けて特に力を入れる必要があると思うものはどれですか、というところで「犯罪被害者等への支援体制づくり」がゼロになっているのですね。多分これはコメントしてくれている人たちの多くがあまり被害に遭っていないということもあって、恐らくそこまでの意識がないことでゼロになっているのではないかと。実際はもう少し体制を整えなくてはならないというのは前回の審議会でも少し感じたところではあったので、そうなる時系列でみると、最後の支援体制づくりにつながるということが見えてくるので、こういうところももう少し件数が入ってくるのが本来の姿なのかなと。時系列で整理するというのはすごく必要なかなと思いました。パブリックコメントにつなげて思ったことでした。

事務局

うちの設問の仕方ちょっと反省しているんですけども、あてはまるものを1つということで絞って設問を出してしまったものですから。時系列的な観点からいくと、まずは地域があって、犯罪がないようにして、支援していこうねという流れの中で、まずはこれというのを選んだのかなと捉えているものですから。ここは反省していこうかなと。

金子会長　でも多分重要度が出ているのだと思うのですよね。どこを重視しているのか、という結果だと思うので。防犯に意識が向く、でも被害者支援の体制に対しての優先度が下がってしまうという結果でもあると思うので。設問の仕方に問題があったというわけではなくて、我々としても何かあったときにどう支援するかというところも意識を持たないとね、というところをやっていかないといけないのだなど。

事務局　今回は経済的支援も含めて検討しましょうという部分もあるものですから、今後進めていく中で力を入れていきたいと思います。

金子会長　ほかにいかがでしょうか。

木村委員　余談的な話でいいですか。この間常葉の大学生のJUSTICEさんのグループの活動の発表がありまして、その中で彼らがやっている活動の一つに古本を集めてその収益から被害に遭った人の裁判費用を賄うというお話がありまして。そういうこともやっているのだというのを感じました。活動資金を自ら集めつつ、防犯への協力もしている、そういう関わり方もあるのだなと感じました。

萩原委員　中央署でやっていますけれども、ホンデリング、うちの支援センターでもやっています。

木村委員　金額は大したことないと思ったら、全体から集まってくるものですから相当な金額になっていますよね。

萩原委員　物によってですけどね、私が見て素晴らしいものだなと思ってもなかなか安く買ったたかれることもありますし。

勝山委員　これから銀行へ行ってもお金がかかるので両替用に1円玉などの細かいお金を用意していますが、そういうお金をこういうのに向けてくれれば支援になるので。意識をそっちの方に向けていただければありがたいなと思うのですけれどもね。10円とか5円とか100円とか、そういうものも善意でというのはなかなかできないものですから。そこをうまく犯罪被害者支援の資金とかのために少しずつ貯金ではないけれども、そうすれば大きな渦になるのかなと思うのですけれども。

事務局　秋の講演会で知ったのですが、お茶を買うとその売上の一部が資金に回りますよというようなことを聞いたのですけれど。色々な団体が行っている取組を広報することも大事だと思います。市ばかりではなくみんなでやっていきたいなと思っているのですけれども。

金子会長　ほかいかがですか。

勝山委員　こうやってすごくいいことをやって、市の自治会への補助金もいただいて安心安全で暮らしているのですけれども、地域の防犯がまだまだ浸透していないのですよ。こういうものを回覧で回したり、興味があるものは黙って見たり活用したりするのでけれども、命・生命にかかわることに対してあまりにも無頓着であるというか。そういうとこをちょっとひねっていただいて、計画も活字が多いので、市民が食いつくような形で取組をスタートしていただけたらいいと思

います。

事務局

計画をなるべく多くの方に見ていただくとともに、見ていただくだけでなく興味をもって行動してもらえるように周知といったところに力を入れていきたいと思えます。

勝山委員

それは十分わかったのですよ。関心がある人は調べたりして、協力するのですけれども。関心のない人にも行動していただけるよう、ポイント制で釣る、というのはちょっとおかしいけれども、そうしていかないと関心のない方は食いつかないのではないかと思います。

金子会長

もうひとつ意見になるのですけれども、パブリックコメントで学生からこういうことやってみたいというのが出ていて、「今後の取り組みの参考にする」というようになっているので、こういったやってみたいというところはぜひ拾っていただけるといいなと思えます。出前講座みたいな感じで若い人に教えるということもいいのですが、一緒にやっていく、という事業を提案していけばこういった学生も意見表明したことで自分の意見が採用されて関わって活動出来ているという、そういったことが積みあがっていくと。広がっていくと勝山委員のおっしゃったように地域を良くしていこうという人が増えていくことにつながっていくと思うのでぜひこういうところで、具体的なものを拾っていただけたらいいなと思えます。

金子会長

三次計画でいうと、前回のアンケートの結果を踏まえて、どうしていくのかというのが26ページから載っていると思うのですが、31ページ辺りの目標とか計画といったところで、何か付け加えた方がいいのではないかとということとか具体的にされた方がいいのではないかとということがあれば優先して出していただければいいのかなと思うのですが。

串原委員

この34ページの犯罪の起きにくい環境（ハード）づくりとありますが、いますぐ出来るかなというものですと、清水区で自転車盗が多いというので回ってきたのですが、駐輪場に「施錠」という張り紙が一つもないのですよ。今出来ることを日々やるということが、施錠をすとか、あるいは見えていますよ、見られているよと貼り付けたら。犯罪が起きにくい・起こりにくいというのは、目が届いている、誰かの目があるなど感じてもらうのが大事だと思います。いろんな所をお願いして貼ってもらうとかね、直ぐ出来ることかなと。駐輪場に「施錠」というのが少なくてびっくりします。玄関に子どもの多い家なんかは4台も5台も自転車がありますね。ちょっと薄暗いようなところで目につきやすいところで「施錠」と書いてあれば、あるいはちょっと強い言葉を募集してもいいと思うのですが。いくつか選定して、いろんな方とやったらすぐ出来るのではないかなと。マンションで不法に置いてある自転車がたくさんあったものですから、私も駅前に住んでいますので管理人さんが困っているというので、そういえば自転車の盗難が多いというのがあったなあと。学校の駐輪場なんかも綺麗なのだけれども、張

り紙を張るというのも、防犯上は効果があるのではないかと思います。

金子会長

30ページとか28ページとかながら見守り活動とか、今いただいているような具体的な取り組みからあげていいのではないかなと思います。

ほかいかがでしょうか。

萩原委員

パブリックコメントの関係ですけど、実施結果でなかなかご指摘を受けていたようですけども、もう少しいろんな方からのアンケート調査回答を増やす方法として考えられるのは、県内の市町でも同じような項目で実施しているところもあるかと思しますので、そういったところのものを参考にしてこうすればいいかなと、こんなことやっているのだなと考えてやればもう少し人数が増えるのかなというところがあります。なかなか大変だとは思いますが、その辺はやってみていただければと思います。もうひとつ、防犯カメラの設置の関係・ハードづくりの関係ですけども、やはり非常に重要だだと思います。前回の審議会でも話したように、防犯カメラの補助金等で市内の商店街がたくさんつけたということで、犯罪が検挙できるし犯罪が減ってくるということで非常に良いわけです。今回の東京で起きた犯罪も防犯カメラでレンタカーを捉えたということで。たくさん防犯カメラがあればあるほど犯罪の抑止になるし、また間違っただけ起きた場合についてはそれをもとにして捜査して早く検挙できるということで。なるべく防犯カメラを沢山つけるということをして市の補助、警察庁の補助とかいろんなものを捉えてやっていただければいいのかなと思います。ですので、先ほど、腕章の絵がありますけれども静岡市はこれだけ防犯カメラを設置しているよ、と。他に類を見ないような数、ということでやっていただければなと思います。一つの例として、青パトの登録台数、全国で北海道が一番ですけど静岡市が二番目なのですよ。そういったところもやってもらえると見た目ですぐわかるかなと。さきほど串原さんの言った割れ窓理論のところ辺りもいいかなと。そういった一つのフレーズをちょっと書いてやったりすればいいのではないかなとは思いますが。今日色んな意見を言うものですから、市の方は非常に素晴らしいものを作ってくれたんですけども、なかなか大変だとは思いますが、良く出来ています。ですのでひとつ分けて、個人がやる防犯設備・対策、市町がやらなくてはならないような防犯対策は違うわけなものですから。その中で我々が市民の側から見て、出来そうだなというところを広くやっていくということがいいかなということですね。ひとつ犯罪が起きたときに、その犯罪に基づいて、熱が冷めないうちに全国のいろんなところでこういう犯罪が起きたものだから、こうやれば犯罪が防げたのかな、また犯罪が起きた場合についても早期に検挙できるなど。チラシですかね、そういったものを町内会で回覧するような形をとれば、こうやればいいんだな、こうしよう、ということでね、隣との連携とかいうこともあるかと思えます。実態に即した対応をとれば注目を集めるのかなと思います。

事務局

数の問題であるとか取り組みについては、第1回の審議会でも令和3年の実績

と令和4年の事業計画ということで、それぞれ計画に基づいた関連施策ということでいろんな課でやっていただいて事業のたま出しをして、では実際どのくらいできたのか。それについて評価として、達成できたのかというところはまた計画の中で随時進捗管理をしていきますので。そういったところの方でもですね、すべてを計画の中に盛り込めないのですけれども、事業計画の中でたま出しをしてもらって、管理をして、結果的に計画の目標が達成できているのかどうかという形での評価は引き続きやっていきたいと思っております。またその辺はもう一度検討してみて、そこで落とし込むのか、計画の方に上げていくのかというところは考えさせていただきたいです。

勝山委員 市の方で予算をとって色々やっていただいているのですが、一番手っ取り早いのは、自分の考えでは、コマーシャルではないのですけれども、毎日のように見ればそれが手っ取り早いのかなと思って。そういうことも必要なのかなと。市の予算がどれだけとれるかわからないけれども、毎日やれば人間は思考がそのようになっていくので。静岡ではPRをやっていますよとやれば、それが手っ取り早いと思うのですよ。それも必要なかなと思います。

金子会長 ほかに何かありますか、よろしいでしょうか。ありがとうございます。事務局では今回出た意見等について、内容を検討し、最終調整してください。

それでは、ただいまの説明にありました第3次静岡市犯罪等に強いまちづくり基本計画について、当審議会として、この内容を了承するという形でよろしいでしょうか。

ありがとうございます。それでは、本日の議事は以上となりますので、進行は事務局へお返しします。

事務局 本日は長時間にわたり、ご審議いただきありがとうございます。

第3次基本計画につきましては、本日の御意見を踏まえ、内容を調整した上で、2月2日に開催される本市の経営会議に付議し、最終的には3月に公表してまいります。今年度の審議会については、これが最後となります。令和5年度からは計画の進捗についてご審議いただく予定でございます。皆様におかれましても、引き続き市の防犯・犯罪被害者等支援施策へのご協力をお願いいたします。

それでは、これもちまして、令和4年度第2回静岡市犯罪等に強いまちづくり推進審議会を終了させていただきます。ありがとうございます。

(3) 閉会

静岡市犯罪等に強いまちづくり推進審議会 会長 金子 泰之